

2005 年中の正会員の業績

青山 和司

●学会発表

「1980年代以降のアメリカの金融変化と年金資産の拡大について」信用理論研究会関西西部会、大阪市立大学、2005年11月26日。

浅野 信博

●研究論文

「財務データの特性と統計分析上の留意点」、[木村史彦氏（名古屋市立大学）との共著] 『オイコノミカ』第42巻第1号、2005年9月、133-152頁。

「戦略的提携・M&Aと企業評価」[山本達司氏（名古屋大学）との共著]、浅田孝幸編 『企業間の戦略管理会計』同文館出版、2005年4月、135-153頁。

荒井 耕

●著書

『医療バランスト・スコアカード：英米の展開と日本の挑戦』中央経済社、2005年4月、244頁。

●研究論文

「イギリスにおける医療バランスト・スコアカードの展開から学ぶ、①3つの医療バランスト・スコアカード・モデル」社会保険旬報 No.2233 2005年2月1日、26-31頁。

「イギリスにおける医療バランスト・スコアカードの展開から学ぶ、②医療提供システム共通B S CモデルとしてのNHSのP A F」社会保険旬報 No.2234 2005年2月11日、27-31頁。

「イギリスにおける医療バランスト・スコアカードの展開から学ぶ、③二つの地域における診療圏連携B S Cモデルの取組み」社会保険旬報 No.2235 2005年2月21日、16-21頁。

「医療バランスト・スコアカードの展開の日英比較」会計検査研究 31 2005年3月、195-206頁。

“Backgrounds and Constraints of Balanced Scorecard Development in Japanese Hospitals,” Business Review (Osaka City University), Vol.16, 2005 May, pp.11-24.

●ワーキングペーパー

“ ‘Balanced Scorecard’ in Japanese Hospitals - Current Development, Background and Constraints -,” Paper presented at Faculty of Business Auckland University of Technology Seminar (9th March) and at International Health Sector Management Workshop (26-27th September).

“Hospital Costing in Japan - The Current Development and the Constraints on Further Development -” Paper presented at European Accounting Association 28th annual congress, School of Economics and Commercial Law, Gothenburg University, Sweden (18-20th May).

●学会発表等

“ ‘Balanced Scorecard’ in Japanese Hospitals - Current Development, Background and Constraints -,” Faculty of Business Auckland University of Technology Seminar (9th March 2005).

“Hospital Costing in Japan - The Current Development and the Constraints on Further Development -” European Accounting Association 28th annual congress, 20th

May 2005, Gothenburg University.

“ ‘Balanced Scorecard’ in Japanese Hospitals - Current Development, Background and Constraints -,” International Health Sector Management Workshop, 26th September 2005, Pollock Halls Edinburgh.

「医療界における原価計算の意義と現状」南ソウル大学講演会（招聘）、2005年10月21日、南ソウル大学。

●その他

「病院原価計算要綱(案)の今日的意義」日本病院管理学会病院原価計算研究会 平成14・15年度報告書（代表：福田敬）2005年9月、17-31頁。

「医療バランスト・スコアカード：英米の展開と日本の挑戦」大阪市立大学文化交流センター出版記念講座、2005年12月14日、文化交流センター（大阪駅前第二ビル）。

石井 真一

●研究論文

"Recapitalization of a joint venture: Matching divisional performance and dividends for parent firms," OCU Business Review, No.16, 1-10, May 2005.

"Knowledge management in joint new product development between competitors," In T. Goessling, R.J. Jansen & L.A.G. Oerlemans (Eds.), Coalitions and Collisions (275-283), Nijmegen, Wolf Publishers, 2005.

●学会発表

"A Pilot Study of Japanese Joint Venture Behavior -Evidences From Electric Appliance Industry-," International Business Seminar, Department of Management, University of Melbourne, Australia, 11 May 2005.

"Alliance Behavior of Japanese Firms in International Joint Ventures in the Electric Appliance Industry," MOPAN (Multi-organizational partnerships, alliances and networks) conference, University of Glamorgan, UK, 23 June 2005.

石川 博行

●研究論文

「連結ベースの配当政策と株価形成 (1)」『経営研究』第55巻第3・4号、2005年2月、73-98頁、単著。

「環境会計情報と株価の実証的関連性－貨幣・物量情報を用いたパイロット・テスト－」『経営研究』第55巻第3・4号、2005年2月、99-115頁、小管康嗣氏と共著。

「連結ベースの配当政策と株価形成 (2)」『経営研究』第56巻第1号、2005年5月、181-208頁、単著。

「記念配当の柔軟性と裁量的配当政策」『経営研究』第56巻第3号、2005年11月、103-140頁、単著。

「記念配当の実態と配当操作の可能性」『会計』第168巻第6号、2005年12月、71-86頁、単著。

●ワーキングペーパー

"Flexibility of Commemorative Dividends and Dividends Manipulation" SSRN Electronic Paper Collection ID:27348 (http://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=827348)2005年10月、1-18頁、単著。

「記念配当の拘束性と株価形成」大阪市立大学大学院経営学研究科、Working Paper Series、No. 200502、2005年12月、1-29頁、単著。

●学会発表

「記念配当の実態と配当操作の可能性」第64回日本会計研究学会全国大会、関西大学、吹田市、2005年9月15日、単独。

●その他

<講演>

「配当政策と企業評価」第140回MPTフォーラム、洋経済新報社、東京都、2005年6月9日、単独。

石原 武政

●著書

『商業・まちづくりネットワーク』（加藤司と共編）、ミネルヴァ書房、2005年1月。

●研究論文

「商業・まちづくりの時代」石原・加藤編『商業・まちづくりネットワーク』2005年1月、1-15頁。

「小売店舗における売買集中の原理xの作用様式、『商学論究』第52巻第4号、2005年3月、1-18頁

「売買集中の原理の外部性」『経営研究』第55巻第4号、2005年2月、1-18頁。

「小売店舗の外部性としての街並みと商店街」『経営研究』第56巻第1号、2005年5月、71-92頁。

「小売業における店舗規模と外部性」『経営研究』第56巻第2号、2005年7月、1-29頁。

「商店街の何が課題か」日本建築学会編『中心市街地活性化とまちづくり会社』丸善、2005年9月、26-35頁。

●その他

「行動規範は店舗規模によって異なる」『販売士』第167号、2005年5月、1頁。

「『日本の流通100年』に参画して」『書齋の窓』No/554、2005年5月、44-47頁。

「まちづくりに欠かせない地元の熱意」『専門店』第654号、2005年5月、8-11頁。

「ボーダレス化の中での地域流通」『季刊企業経営』No.91、2005年7月、4-7頁。

「これからのまちづくりに向けた商店街の課題」『地域づくり』20周年特集号、2005年9月、8-9頁。

「人口減少時代の都市商業」『融』第13号、2005年9月、19-22頁。

稲葉 祐之

●学会発表

Inaba, Yushi, 2005. Relationships for joint problem-solving: Mode and process. 21st European Group of Organization Studies Colloquium, European Group of Organization Studies, 2005/06/30, Free University Berlin, Berlin, Germany.

太田 雅晴

●研究論文

Two-Phase Optimization Method for Harvesting and Delivering Fresh Agricultural Products with Periodical Flowering to Multiple Markets Journal of Japan Industrial Management Association, 55,6 2005,2 pp.322-334 Co-Author: K.H.Widodo, H.Nagasawa, K.Morizawa

周期的開花条件下での複数市場への生鮮農産物収穫・配送モデル、日本経営工学会誌、56,3 2005.8 pp.165-173 クンチョロ・ハルト・ウイドド 長沢啓行、森澤和子との共著。

●学会発表

オンラインコミュニティのビジネス利用 オフィスオートメーション第51回全国大会予稿集、大阪成蹊大学、pp.189-192 2004/11/2-5 榎本光世との共著。

中小製造業の製品開発にオペレーションズマネジメントの最適化対応への課題、経営情報学会 2005年秋季全国研究発表大会予稿集、中村学園大学 pp.188-191 2004/11/12-13 岡野謙一との共著。

効果的デマンドチェーンマネジメントのためのCISC概念、経営情報学会 2005年秋季全国研究発表大会予稿集、中村学園大学 pp.258-261 2004/11/12-13 崔 宇との共著。

NPOのビジネスプロセス研究に向けて、経営情報学会 2005年秋季全国研究発表大会予稿集、中村学園大学 pp.364-367 2004/11/12-13 豊田美智子との共著。

中国におけるSCMの現状と今後の課題、オフィスオートメーション第50回全国大会予稿集、北海道工業大学 pp.185-188 2005/5/20-22 崔 宇との共著。

中小製造業における製品開発過程マネジメントの最適化に向けての課題、オフィスオートメーション第50回全国大会予稿集、北海道工業大学 pp.197-200 2005/5/20-22 岡野謙一との共著。

岡野 浩

●研究論文

"Japanese Management Accounting and Recent Changes of Target Costing at Toyota"
."Proceeding of International Conference on Management Accounting held at Xiamen University, 9-10 July, 2005, 33-66 頁。

●ワーキングペーパー

"Target Costing: Uncharted Research Territory" California State University Working Paper Series, No.232287, 2005年11月。

"A History of Japanese Management Accounting" Said Business School, University of Oxford, No.0500133, 2005年12月。

●その他

「国立大学が私立大学を経営する：メルボルン大学の事例」文化交流センター6月ターム講座「公益事業体における戦略経営と会計」、2005年6月6日。

「日本の原価管理システムについて」上海財経大会計学院、2005年11月8日。

「日本における戦略会計の歴史と現状」北京工商大学、2005年11月22日。

「原価企画に関する日中比較研究」北京国家会計学院、2005年11月23日。

“A History of Japanese Management Accounting” オックスフォード大学ビジネススクール、2005年3月17日。

加藤 司

●研究論文

「チャンネルにおける Make or Buy 理論の再検討」『経営研究』第56巻第1号、149～165頁、2005年。

「ネットワークとしての流通システム」『経営研究』第56巻第2号、63～82頁、2005年。

「商業における事業継承の『問題』を考える」大阪府商工会連合会『事業所が抱える後継者の問題点と後継希望者とのマッチングについて』18～20頁、2005年。

●その他

「地域貢献の試み調査」 公立大学協会 商・経・経営学部会 課題研究会・研究報告書『公立大学の地域貢献における商・経・経営学部の役割』、33～48頁、2005年。

亀田 速穂

「環境適応と組織転換」 大阪市立大学経営学会『経営研究』、第56巻第3号、2005年11月、83～102頁。

川村 尚也

●研究論文

「患者会のコミュニティ・エンパワメントの可能性と課題－乳がん患者会における「病いの語り」の分析から－」(濱井和子との共著)、『経営研究』 第56巻第2号、2005年7月、105-124頁。

●学会発表

「Community of Practice in the face of globalization - Its Origins, Significances, Risks, and Conditions -」 Community of Practice WORKSHOP SIGECAD' 05 (Joint Research Workshop by UNIVERSITE PARIS DAUPHINE, ESSEC, and OCU) ESSEC, La Défense La Défense, France, 2005年6月28日。

「公共サービス領域における組織間コラボレーションの分析枠組み」(井上祐輔、太田雅晴との共同報告) 第20回社会情報学会、京都大学、京都市、2005年9月12日。

●その他

「Knowledge Management and Organizational Knowledge Creation in Multicultural Society - In Search of “Communities of Practice without Oppression”」 Research seminar ESSEC, La Défense La Défense, France, 2005年4月19日。

「Knowledge Management and Organizational Knowledge Creation in Multicultural Society - In Search of “Communities of Practice without Oppression”」 Research seminar Université de Technologie de Troyes Troyes, France, 2005年5月18日。

「Catalyzer Software “The Job Hunting 200X” - The use of multimedia technology in business education -」 Research seminar ESSEC, La Défense La Défense, France, 2005年7月22日。

フランスにおけるヘルスケアマネジメント研究－パリ鉱山大学マネジメントサイエンスセンターにおける取り組み－」第12回大阪市立大学ヘルスケア・マネジメント研究会、大阪市立大学、大阪市、2005年8月31日。

「Human Resource Development for Knowledge Management - Supporting “communities of practice” to enhance organizational capability of knowledge creation -」 Special Lecture for the delegates from Human Resource Department, Thailand Bureau of Budget, 大阪市立大学、大阪市、2005年9月2日。

「乳がん患者会のナラティブ・エンパワメントと抑圧」(濱井和子との共同報告) サロン de 人権 (大阪市立大学人権問題研究センター)、大阪市立大学、大阪市、2005年10月19日。

「働く人々の健康と 中小企業の経営革新－大阪発 PPP の試み－、大阪市立大学重点研究「グローバル競争下の都市ビジネスの高度化－大阪モデルの開発」、第3回中間総括シンポジウム、大阪市立大学、大阪市、2005年11月3日。

清田 匡

●著書

„Der genossenschaftliche Bankensektor in Japan“ W.Mauke Juli, 2005(Christian M. Ringle と共著)。

●研究論文

「金融商品と金融サービス --- サービス業としての銀行の特殊性と金融機関のタイポロジー ---」大阪市立大学経営学会『経営研究』第 56 巻第 3 号、2005 年 11 月、45~5 頁。

●学会発表

「中小企業向け金融商品と金融機関 --- 大阪市内の中小企業向けアンケートの結果から ---」証券経済学会 2005 年度秋季大会、大阪市立大学、大阪市、2005 年 10 月 29 日。

●その他

近畿財務局「地域密着型金融に関するシンポジウム」のパネラー、大阪商工会議所、大阪市、2005 年 11 月 28 日。

大阪市立大学証券研究センター2005 年度シンポジウムのコメンテータ、アベノメディックス、大阪市、2005 年 12 月 10 日。

信用理論研究学会 2005 年春季大会でのコメンテータ、中央大学、多摩市、2005 年 5 月 30 日。

「銀行の過去、現在、そして未来--- 日独の銀行の比較から ---」市民向けセミナー、大阪市立大学、大阪市、2005 年 6 月 30 日。

「サービス業としての銀行」『TOYRO BUSINESS』2005 年 12 月号、2005 年 11 月、4~5 頁。

「中小企業金融ポータル」(<http://www2.bus.osaka-cu.ac.jp/~kiyota/mfwiki/pukiwiki.php>)

小林 哲

●研究論文

(共著) 組織行動がブランド・マネジメントに与える影響—資源ベース理論の適用可能性に関する考察—『マーケティング・ジャーナル』98 号、2005 年 9 月、20-37 頁。

●その他

「マーケティングの失敗—ポリティカル・マーケティングの可能性—」『マーケティング・ジャーナル』98 号、2005 年 9 月、2-3 頁。

坂上 学

●研究論文

「専門教育の一環としての初年次教育のあり方—大阪市立大学商学部の試み—」『大学教育』(大阪市立大学) 第 2 巻第 1 号、2005 年 3 月、45-54 頁。

「人工知能アプローチによる『継続企業の前提』の解析—テキストマイニングによる非会計情報の分析—」(共著) 日本会計研究学会スタディグループ『倒産予測モデルの構築とパフォーマンスの検証』最終報告(日本会計研究学会) 2005 年 9 月、155-195 頁。

●ワーキングペーパー

Valuation of the Profit Available for Dividend (co-authored with Shin'ya Okuda and Atsushi Shiiba) OCU-GSB Workig Paper, No. 200501 2005 年 9 月 1 日。

●学会発表

「倒産予測モデルの構築とパフォーマンスの検証」(スタディグループ最終報告)(共同) 日本会計研究学会第 63 回大会、関西大学、大阪・吹田市、2005 年 9 月 14 日。

「複式簿記システムの構造と機能に関する研究」(スタディグループ中間報告)(共同) 日

本会計研究学会第 63 回大会、関西大学、大阪・吹田市、2005 年 9 月 14 日。

「配当可能利益の評価に関する実証分析」(共同) 日本会計研究学会第 63 回大会、関西大学、大阪・吹田市、2005 年 9 月 15 日。

「XBRL の構造と複式簿記システムへのインプリケーション」日本会計研究学会第 63 回大会、関西大学、大阪・吹田市、2005 年 9 月 16 日。

XBRL による電子開示の動向、日本大学教授招請特別講演会、南ソウル大学、韓国・チョナン、2004 年 11 月 4 日。

XBRL: Its Significance for the Electronic Tax Filing System, International Conference of Korean Academic Society of Taxation, Namseoul University Chonan, Korea 2004 年 11 月 4 日。

Instance Creation and Analysis (co-authored with Cindy Yoshiko Shirata) The 12th XBRL International Conference Royal Park Hotel Tokyo, Japan 2005 年 11 月 9 日。

Valuation of the Profit Available for Dividend (co-authored with Shin'ya Okuda and Atsushi Shiiba) The 17th Asia Pacific Conference on International Accounting Issues Victoria University of Wellington Wellington, New Zealand, 2005 年 11 月 22 日。

●書評

記虎優子著『会計ディスクロージャー論』(同文館, 2005 年)『會計』第 5X 巻第 X 号、2005 年 11 月、143-146 頁。

下崎 千代子

●研究論文

「第三世代の労務管理」赤岡・日置編著『労務管理と人的資源管理の構図』第 13 章、中央経済社、2005 年 3 月、211-228 頁。

「女性として企業社会に生きる」田尾・佐々木・若林編著『はじめて経営学を学ぶ』第 III 部第 16 章、ナカニシヤ出版、2005 年 11 月、228-241 頁。

「成熟社会におけるワークシェアリング～雇用・賃金・地位の分かち合い～」『生活共同組合研究』2005.11、2005 年 11 月、14-21 頁。

●学会発表

「A Case of Knowledge Workers in a Small Japanese Manufacturer」(Coauthor: K I N E Z A K I, N o r i k o) The 10th International Telework Workshop and the 2nd ITA Conference Lancashire Business School Preston, England 29th August - 1st September 2005 Co-author: Kinezaki, NORIKO

●その他

『平成 16 年度労使による世代間ワークシェアリング事業事例研究報告書』(共: 三崎秀央) 兵庫経営者協会、2005 年 3 月、pp1-19(16・17 を除く)。

第 3 編分野別検証 III 産業雇用分野「多様なワークスタイルづくりを通じたしごとの創造等、しごと・雇用対策」復興 10 年委員会『阪神・淡路大震災復興 10 年総括検証・提言報告』復興 10 年委員会、2005 年 3 月、pp.V267-V305。

第 2 章復興 10 年総括検証・提言報告/産業雇用 6 「多様なワークスタイルづくりを通じたしごとの創造等、しごと・雇用対策」兵庫県創造的復興フォーラム実行委員会『伝えよう 1. 17 の教訓』神戸新聞総合出版センター、2005 年 9 月、pp.195-199。

鈴木洋太郎

●著書

『多国籍企業の立地論』(桜井靖久・佐藤彰彦と共著) 原書房、2005 年 11 月。

●研究論文

東アジア諸都市の競争優位構造—日系多国籍企業の立地行動に関連して— 田坂敏雄編『東アジア都市論の構想 御茶の水書房、2005年8月、183-207頁。

●その他

大阪企業のグローバル化とクラスター戦略、大阪市立大学大学院経営学研究科、グローバル競争下の都市ビジネスの高度化、大阪モデルの開発』2005年12月、21-26頁。

高田 輝子

●学会発表

"「Asymptotic and Qualitative Performance of Nonparametric Density Estimators: A Comparative Study」" 研究集会「ノンパラメトリック・セミパラメトリック統計学」統計数理研究所、東京都港区、2005年3月26-27日。

「ヘリンジャー距離最小化による潜在変数モデルのノンパラメトリックパラメータ推定」第73回統計関連学会連合大会、広島プリンスホテル、広島市、2005年9月12-15日。

高橋 信弘

●学会発表

“Intra-industry Trade and National Entry Policy” WTO, China, and the Asian Economies, III: Economic Integration and Economic Development, Xi'an Jiaotong University, Xi'an, China, 2005年6月25日。

「産業内貿易と一国の貿易政策」招待講演、韓日研究動向 Workshop、南ソウル大学、韓国チョンナム市、2005年10月21日。

田口直樹

●研究論文

「北陸地域産業の展開過程に関する考察」『経営研究』第56巻第1号、2005年5月、35-51頁。

●書評

「斉藤栄司「上海地域プラスチック金型産業のケース・スタディ」(『経営経済』第40号、2005年)」『中小企業季報』2005(2)、2005年7月、33-34頁。

「原田勉「産業集積値域におけるコミュニケーション行動と企業集積」(『調査季報』第74号、2005年8月)」『中小企業季報』2005(4)、2006年1月、28-29頁。

「斉藤栄司「金型技術の国際移転と知的財産権」(『日本中小企業学会論集』NO.24、2005年6月)」『中小企業季報』2005(4)、2006年1月、34-35頁。

田村 晃二

●研究論文

「マーケティング競争における生産と商業の双対性—日本二輪業界のダイナミズムをめぐって—(大阪市立大学大学院経営学研究科提出平成16年度博士学位論文)2005年3月、197頁。

「顧客信頼の形成によるストア・ブランドの確立—二輪小売レッドバロンのケース—」『季刊マーケティングジャーナル』(日本マーケティング協会)第25巻第1号、2005年6月、4-22頁。

●学会発表

- 「顧客信頼の形成によるストア・ブランディング ―二輪小売レッドバロンのケース―」
第 55 回日本商業学会全国大会、桃山学院大学、和泉市、2005 年 5 月 29 日。
「顧客信頼の形成によるストア・ブランディング ―二輪小売レッドバロンのケース―」
05 年度第 1 回産業学会自動車産業研究会、京都大学、京都市、2005 年 6 月 4 日。

翟 林瑜

●研究論文

「中国上場企業のジレンマ：規模の拡大と収益の低下」日本証券経済研究所『証券経済研究』第 49 号、2005 年 3 月、135-154 頁。

●学会発表

「中国企業の成長パターンと資本市場改革の課題」上海フォーラム、復旦大学（中国）上海、2005 年 5 月 16 日。

●その他

「上場企業からみる中国企業の成長パターン」外国為替貿易研究会『国際金融』第 1151 号、2005 年 9 月、32-37 頁。

「粗放型成長続く中国企業、効率重視へ転換必要」日本経済新聞「経済教室」2005 年 12 月 23 日。

富澤 修身

●研究論文

「(単著) 福井繊維産地の構造調整史、経営研究、56 巻 3 号、2005 年 11 月、17~44 頁。

(単著) 大阪のファッションについて、日本染色協会『染協ニュース』197 号、2005 年 8 月、2~7 頁。

中瀬 哲史

●

日本経済評論社 2005 年 2 月

●研究論文

『経営研究』第 56 巻第 3 号、2005 年 11 月、61-82 頁。

●

政治経済学・経済史学会近畿部会例会報告、2005 年 6 月 11 日、大阪市立大学文化交流センター、大阪。

西倉 高明

●研究論文

購買力平価説、金利平価説とヨーロッパ通貨統合『経営研究』第 56 巻第 1 号、2005 年 5 月、119-133 頁。

・その他

西村 弘

●研究論文

「道路公団民営化と小泉改革」『ポリテイク』第 9 号、旬報社、2005 年 2 月、pp. 106-126。

「道路公団民営化問題と道路政策理念」『交通学研究/2004 年研究年報』日本交通学会、2005 年 3 月、pp. 31-40。

「道路公害と道路政策-道路政策は変わったか-」『関西大学商学論集』第50巻第3・4号合併号、2005年10月、pp.37-50。

●その他

「人に喜び、地域に誇りなきを憂う」『高速道路と自動車』第48巻第4号、2005年4月、p.14。

「交通政策に関する課題と今後の展望」『運輸と経済』、2005年10月、pp.70-1。

畑 明郎

● 研究論文

“The Spreading Cadmium Scourge”, Japan Environmental Council (Ed.), The State of the Environment in Asia 2005/2006, Springer-Verlag Tokyo, January 2005, pp.280 - 283.

「韓国環境問題調査」『経営研究』第56巻第1号、2005年5月、307 - 326頁。

「OAP事件等にみる汚染土地売買の問題事例と対策」『Evaluation』第17号、2005年5月、76 - 83頁。

「最近の環境問題のまきかえしを検討する」『日本の科学者』第40巻第10号、2005年10月、9 - 14頁。

「日本の廃棄物とリサイクル問題」日本科学者会議公害環境問題研究委員会編『環境展望 Vol.4』実教出版、2005年10月、79 - 97頁。

● 学会発表

「OAP事件等にみる汚染土地売買の問題事例と対策」地質汚染リスクと不動産セミナー招待講演、パレスホテル、東京、2005年2月29日。

「非鉄金属鉱業の技術と公害」日本科学史学会技術史分科会招待講演、大阪市立大学文化交流センター、大阪市、2005年3月5日。

「大阪市内の土壌・地下水汚染事例 - 大阪アメニティパーク(OAP)」日本環境学会第31回研究発表会発表、北海学園大学、北海道札幌市、2005年7月3日。

「京都府・滋賀県下の土壌・地下水汚染事例」日本環境学会第31回研究発表会発表、北海学園大学、北海道札幌市、2005年7月3日。

「関西の土壌・地下水汚染事例」京都大学環境衛生工学研究会第27回シンポジウム講演、京都大学、京都市、2005年7月21日。

「最近の関西と韓国の土壌汚染事例」ATCグリーンエコプラザビジネス交流会第11回水・土壌汚染対策研究部会セミナー招待講演、ATC、大阪市、2005年7月21日。

「関西での地質汚染事例 - 広がる重金属汚染」第8回地質汚染調査浄化シンポジウム招待講演、大阪市立大学文化交流センター、大阪市、2005年4月23日。

「汚染マンション(OAP=三菱金属大阪製錬所跡地)のお話」第9回地質汚染調査浄化シンポジウム招待講演、大阪市立大学文化交流センター、大阪市、2005年9月21日。

「イタイイタイ病と環境の再生」第9回日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会「ワークショップ in 黒部」招待講演、富山県立大学、富山県、2005年9月5日。

「地域の環境問題を考える - 琵琶湖・淀川水系の環境問題を事例に」しまね地域自治講座招待講演、島根県民会館、島根県松江市、2005年9月8日。

「世界の鉱山遺跡の現状」石見銀山の世界遺産登録と地域づくりシンポジウム招待講演、スカイホテル大田、島根県太田市、2005年9月11日。

「産業と土壌汚染問題」電気化学会北陸支部秋季大会招待講演、金沢大学、金沢市、2005年9月15日。

●その他

「土壌汚染」『AERA Mook 新版 環境学がわかる。』朝日新聞社、2005年2月10日、

121 - 123 頁。

「都市再生と土壤汚染問題」『環境とコミュニティ・共同性の再生』環境再生政策研究会、2005年3月、102 - 121 頁。

「市街地の土壤汚染の現状と対策 - 大阪アメニティパーク(OAP)の事例にみる」『ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議ニュースレター』第35号、2005年6月、4 - 5 頁。

「鉦山跡地にごみ処理施設建設の危険性」『消費者レポート』第1314号、2005年11月27日、4 - 5 頁。

「地球からの警告⑩資源・エネルギー問題」『婦人通信』第570号、2005年12月、36 - 37 頁。

「韓国のイタイイタイ病」『びわ湖通信』第119号、2005年2月、7 頁。

「2005年韓国環境紀行(1)」『びわ湖通信』第127号、2005年10月、4 - 8 頁。

「世界遺産推薦の石見銀山遺跡を訪ねて」『びわ湖通信』第127号、2005年10月、15 - 16 頁。

「韓国環境紀行(2)」『びわ湖通信』第128号、2005年11月、2 - 5 頁。

「びわ湖の水と環境を守る会 10年によせて」『びわ湖の会 10年の歩み』びわ湖の水と環境を守る会、2005年5月、17 頁。

『猪名川上流広域ごみ処理施設造成工事差止請求事件・陳述書』神戸地方裁判所提出、2005年9月30日、1 - 6 頁。

「公害・環境問題における加藤先生の研究活動」科学論技術論研究会編『技術と社会 - 或る科学者の半生～追悼 加藤先生～』2005年10月、55 - 58 頁。

「核心へ、OAP 土壤・地下水汚染事件、早期解決の道はあるのか、畑明郎大阪市立大学大学院教授に聞く」『建設新聞』2005年1月6日、6 - 7 面。

「畑教授、OAP 事件で講演・地質汚染調査シンポ」『建設新聞』2005年5月9日。

「栗東 RD 産廃問題、汚染地下水が下流に流出!!周辺住民の飲み水が危ない」『滋賀民報』2005年6月5日。

「栗東 RD 産廃処分場問題・コメント」『滋賀報知新聞』2005年4月7日、5月24日、10月14日、『毎日新聞』滋賀版、2005年12月6日。

「有害物使わないこと、行政調査には疑問も、岐阜環境調査市民学術委が勉強会、畑大阪市立大教授講演」『岐阜新聞』2005年7月18日。

「激震のマンション土壤汚染問題、対策法では汚染拡大防止できず・コメント」『週刊東洋経済』、2005年4月16日号。

「大田で石見銀山遺跡シンポ・コメント」『山陰中央新報』2005年9月12日。

「韓国のアンチモン被害、旧米原の経験を問題解決に、大阪市立大学教授と先月、環境 NGO 来県住民に聞き取り・県の報告書も入手」『毎日新聞』滋賀版、2005年12月19日。

「OAP(大阪アメニティパーク)土壤汚染事件テレビ報道・出演」『読売テレビ・ニューススクランブル』2月27日、3月25日、『読売テレビ・ウェークアップ』4月2日、『毎日放送 Voice』4月23日、『朝日放送 NEWS ゆう』4月11日。

「イタイイタイ病テレビ報道・出演」『北日本放送』2005年8月5日。

藤井 輝明

●研究論文

「集計データとリサンプリングデーター対数正規変数の集計にともなう観測可能な相関の変化についてのシミュレーションー」『季刊経済研究』第28巻第1号、2005年6月、3 - 18 頁。

●学会発表

「産業・企業統計研究の現状と課題」第49回経済統計学会全国総会、立教大学、東京、2005年9月4日。

●その他

「企業アンケート調査と事業所・企業統計調査 ―方法、および従業員規模 属性について―」大阪市立大学大学院経営学研究科都市問題プロジェクト研究会『都市型産業の再生と創造（中間報告書）』2005年3月30日、87-93頁。

本多 哲夫

●その他

（調査報告書）

「今治タオル産地の実態」（財）岸和田市中小企業振興会『岸和田市製造業実態調査報告書 繊維産業編』、2005年、59-68頁。

「大阪市のロボット産業振興の現状と課題―企業ヒアリング調査結果をもとに―」大阪市立大学大学院経営学研究科「都市問題研究プロジェクト」研究会『都市型産業の再生と創造―中間報告―』、2005年、25-33頁。

「自治体における中小企業政策の課題―大阪産業創造館を事例として―」大阪市立大学大学院経営学研究科「都市問題研究プロジェクト」研究会『都市型産業の再生と創造―中間報告―』、2005年、49-58頁。

（研究報告）

「大阪市製造業実態調査からみえてくるもの―売上増加企業と売上減少企業の違い―」関西中小工業協議会、関西中小工業協議会会館、2005年8月26日。

「大阪市の中小企業政策・まちづくりを考える―大阪市基本計画を手掛かりに―」大阪府中小企業家同友会政策セミナー、谷町八木ビル、2005年11月14日。

向山敦夫

●研究論文

「環境会計と社会的公平性 ―経済・環境・社会のトリプル思考―」山上達人・向山敦夫・國部克彦編著『環境会計の新しい展開』白桃書房、2005年4月、55-69頁。

「経営者報酬とコーポレート・ガバナンス」『経営研究』第56巻第1号、2005年5月、135-148頁。

「『持続可能性報告』の展開と課題」『会計理論学会年報』第19号、2005年9月、1-9頁。

「水道事業体の環境情報開示」『産業経理』第65巻第3号、2005年10月、41-48頁。

●学会発表

「ファミリー・フレンドリー企業の情報開示行動」"日本社会関連会計学会第18回全国大会統一論題"法政大学、2005年10月23日。

●その他

「社会関連情報の分析」日本経営分析学会編『経営分析事典』税務経理協会、2005年5月。

"「大阪企業のCSR情報ディスクロージャーの課題」"商学部重点研究シンポジウム、大阪市立大学、2005年11月3日。

「持続可能性会計」河野正男（責任編集）・環境省環境政策局環境経済課（編集協力）『環境会計A⇒Z』ビオシティ、2005年12月、274-279頁。

吉川 吉衛

「CSRとリスクマネジメント ―CSRリスクの軽減策を中心に」日本リスクマネジメント学会第29回全国大会、千葉商科大学、2005年9月。

「競争戦略とCSR：経営倫理の観点からの関西経済の復活を求めて」日本経営倫理学会第13回研究発表大会、南山大学、名古屋市、2005年10月22日。

●その他

研究報告「基調報告」「大阪のビジネスと企業の社会的責任」重点研究 2005 年中間総括シンポジウム、大阪市立大学学術情報総合センター文化交流室。2005 年 11 月 3 日。

"研究報告「新会社法と内部統制システムー当該システムとして、どのようなものがイメージされるか。また、企業は CSR を踏まえそれをどのように構築すべきか」"

重点研究講演会「内部統制システムとリスクマネジメント」大阪市立大学商学部会議室、2005 年 12 月 20 日。

"大阪市立大学文化交流センター講座「いま問われる企業の社会的責任 (CSR) : 企業経営における経済的健全性と倫理的健全性」"大阪市立大学文化交流センター、2005 年 12 月 15 日。